

# 市議会だより

- 記事内容
- 11月臨時会・12月定例会から…P 2～P 3
  - 議案質疑…P 3
  - 一般質問…P 4～P 9
  - 予算特別委員会…P 9
  - 常任委員会…P 10～P 11
  - 請願等・編集後記…P 12



市役所職員によるなまはげ行事（市役所前）

## ～男鹿から東北に力を！～

日頃から市議会及び市政に厚くお礼を申し上げます。さて、本市は今年で合併10周年を迎えることとなりますが、この機会に合併からの10年を振り返るとともに、本市の将来を見据え、最重要課題である人口減少・超高齢社会の克服に向けて、これまで以上に全力で取り組みを続けていかなければなりません。このため、新たな取り組みとして、議員定数や議員報酬のあり方など、あらゆる項目について協議・検討を重ねておりますが、人口減少対策に関しても議会として各常任委員会で積極的に取り組むこととし、本年中に提言等をとりまとめたいと考えております。政府が進める地方創生において、求められているのは「地方が自ら考え、責任をもつて戦略を推進する」という観点であります。人口減少・超高齢社会という課題に対し、本市の特性を踏まえた戦略を市当局と議会はもろろんのこと、市民や関係団体等とも一体となつて一層議論していかねばならないものと考えております。また、市民の皆様に取りまして希望に満ちた年になるように、心より祈念して新春を迎えるの挨拶といたします。



新春を迎えて  
男鹿市議会議長 三浦利通

新年おめでとうございます。市民の皆様には、健康やかで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、上げます。厚くお礼を申し上げます。

11月臨時会
12月定例会

のにぎわいづくりに新計画

般にわたり活発な議論展開
駅周辺整備基本計画一

平成26年11月臨時会は、11月21日、1日の会期で開かれ
ました。平成26年12月定例会は、12月4日から19日までの
16日間の会期で開かれました。この定例会では、20議案が
市長から提案され、審議の結果、19議案が可決及び承認さ
れましたが、男鹿市敬老祝金等支給条例の一部改正は、さ
らに審査の必要があるため継続審査とすることにしました。
また、最終日には、議案9件を可決したほか、人口減
少対策に関する件を各常任委員会に付託し継続審査とする
ことにしました。

11月臨時会

12月定例会

●第29回国民文化祭・あぎ
た2014について
男鹿市では「全国ナマハゲ
の祭典」、「大地に学ぼうジオ
パークの祭典」及び「全国吟
詠剣詩舞道祭」の3事業が実
施されました。

●第137回種苗交換会に
ついて
男鹿市では17年ぶり4回目
となる種苗交換会は、10月30
日から11月5日まで開催され、
来場者数は、主催者発表で、
83万5千人でした。

全国ナマハゲの祭典では、
10月4日と5日、男鹿市民文
化会館で記念講演、実演及び
展示が行われ、10月4日には
「男鹿のナマハゲ」をはじめ
県内外の来訪神行事が実演さ
れました。

各事業の入場者数は「全国
ナマハゲの祭典」が約139
0人、「全国吟詠剣詩舞道祭」
では約1300人、「大地に学
ぼうジオパークの祭典」では、
男鹿半島・大潟ジオパークを
巡るバスツアー参加者が24
1人、ジオパーク関連企画展
には2万3650人の来場が
ありました。

●除雪対策について
11月26日から12月5日まで、
市当局が各地区の町内会長と
委託業者を交えての除雪会議
を行い、12月10日、産業建設
部内に除雪対策本部が設置さ
れました。同本部は、平成27

年3月31日まで設置されます。
●敬老祝金等支給条例の一部
を改正する条例について
当該案は、行政改革大綱に
基づき、敬老祝金の支給対象
年齢等を見直すため、現行の
77歳の5千円、99歳の5万円
101歳以上の毎年2万円支
給を廃止し、88歳の1万5千
円と、100歳の10万円のみ
を継続とするもので、年間4
00万円程度の予算が削減さ
れる内容です。

審議日程

Table with 2 columns: Date and Session Name. Includes items like 12月4日 本会議(議案上程), 8日 本会議(一般質問), 9日 本会議(一般質問), 10日 本会議(一般質問), 11日 本会議(議案質疑), 12日 予算特別委員会, 15日 常任委員会・分科会, 16日 常任委員会・分科会, 19日 議会運営委員会 本会議(表決)

可決した主な議案

11月臨時会

- (補正予算)
●一般会計予算(第3号)
《主な内容》 補正経営安定緊急対
策資金保証助成事業費補助金2
57万4千円、地域経済循環創造
事業補助金5千万円など措置した
もので、歳入歳出それぞれ5千3
30万円を追加するものです。

12月定例会

- (専決処分)
●一般会計補正予算(第4号)
●(補正予算)
●一般会計予算(第5号)
《主な内容》 男鹿駅周辺整備基本
計画策定業務委託料400万円、
五里合公民館・保育園等移転改修
工事実施設計業務委託料570万
円、市の記念日事業費527万9
千円、温泉地域の特性活用人材育
成事業費75万2千円、小学校統合
事業費272万円などを措置した
もので、歳入歳出それぞれ7千1
30万円を追加するものです。
●国民健康保険特別会計予算
(第3号)
●男鹿みなと市民病院事業会
計予算(第1号) 他8件
(条例)
●男鹿市国民健康保険条例の
一部改正
●男鹿市指定介護予防支援等

# 男鹿駅周辺 計画案全 — 男鹿



## 11月臨時会

**質疑** 百川バイパスの総延長、事業期間、開通期日、信号機設置等の安全対策について伺います。

**答** 総延長は4696mで、事業採択は平成17年度、着工は19年度、今年度完成で総工費約15億円、竣工は12月4日です。信号機については、県地域振興局と設置について協議をしていきます。

**質疑** 米価の下落で農家から支援対策が切望されているが、

会議の承認を経て、継続審査となりました。

### ●男鹿駅周辺整備基本計画について

男鹿駅周辺整備基本計画は、秋田県市町村未来づくり協働プログラムの活用を視野に、男鹿市案のプロジェクトを同計画の中に位置づけた上で、男鹿駅周辺の賑わいづくりを旨としています。当該プロジェクトについて、

今のところ県の稲作経営安定緊急対策資金の貸付だけであり、本市でも他市のように積み増し支援が出来ないか、市内だけで10億円以上の経済的打撃があり、他の職種にも大きく影響するため、対策が必要と思いががが。また、現在までの申し込み額や戸数及び貸付時期を示していただきたい。その際、米の数量比例だけでなく農業関連経費も含めて貸し出しする手立ては考えられないか伺います。

**答** 積み増し支援としては、JAからローパー資金での援助の申し出があり、12月定例会で審議をお願いできるようなところでは、内容を精査して貸し付け予定額は2億5500万円、3年間の貸付で、それに対する保証料年5%の

市当局としては、物産販売施設等を想定しており、早期に庁内で素案を作成した上で、民間の男鹿駅周辺整備計画検討委員会の意見を聞き、議会と協議しプロジェクトを決定するとしています。12月定例会中の、議会と市当局との議論では、市当局案に対し議員から様々な提言があり、1月中には、それらを踏まえた修正案が市当局から

示されることとなっています。全国的にも喫緊の課題として挙げられている人口減少問題に対して、男鹿市議会としても積極的に取り組んでいく姿勢で、幅広い観点から意見を提言する目的のもと、各常任委員会にて、当該課題に係る所管事項等が取扱われることとなりました。

### ●人口減少対策について

示されることとなっています。全国的にも喫緊の課題として挙げられている人口減少問題に対して、男鹿市議会としても積極的に取り組んでいく姿勢で、幅広い観点から意見を提言する目的のもと、各常任委員会にて、当該課題に係る所管事項等が取扱われることとなりました。

## 12月定例会

**質疑** 男鹿駅周辺整備基本計画策定事業委託料として400万円計上されていますが、建設場所等全く決まっていな

い状況であるにもかかわらず、委託するということは業者への丸投げのように思います。本来は市当局から建設場所や計画等を示して委託すべきだと思います。そうした手順を踏んでから委託料予算を計上すべきではないか。当該委託料を議会に提出するのは拙速と考えるし、積算根拠等を示すべきでないか伺います。

**答** 市全体の活性化の中で男鹿駅周辺の整備を図るものであり、これまで検討し様々なアイデアは持っています。それを町並みデザイン専門家から見えていただき取り入れていただきます。町並みでありますから、時間を要しますが、将来的な開発の実施にむけて今定例会に予算を提案させていただきます。

**質疑** 敬老祝金等支給条例の一部改正についてですが、長年社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、その福祉の向上に寄与することを目的にこれまで祝金を支給してきました。この祝金の支給を行政改革大綱に基づき100歳と88歳は存続しますが、77歳、99歳、101歳以上の祝金を廃止するという改正案であります。高齢者に対する裏切りでもあり、見直すべきと思いますが

**答** 特定の年齢の高齢者だけを対象とするよりも、例えば健康寿命を延ばす取り組みや高齢者の生きがいづくりなど高齢者全体を対象とする施策を実施する方が、より高齢者福祉の充実が図られると思います。また、平成25年度の実績では、弔慰金を含め77歳の支給人数は545人、88歳が225人、99歳が13人、100歳が12人、101歳以上が12人で、合計807人となっています。今後、市の財政事情はさらに厳しくなると予想される中で福祉の持続性を高めるためにも見直しが必要と考えています。

※男鹿市敬老祝金等支給条例の一部改正案は継続審査となりました。

の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例の制定  
●男鹿市学校設置条例の一部改正  
《主な内容》教育効果の向上を図るため、平成27年4月に野石小学校を美里小学校へ統合することに伴う改正です。 他4件

（議員提出議案）  
意見書9件

いかがか。

**答** 特定の年齢の高齢者だけを対象とするよりも、例えば健康寿命を延ばす取り組みや高齢者の生きがいづくりなど高齢者全体を対象とする施策を実施する方が、より高齢者福祉の充実が図られると思います。また、平成25年度の実績では、弔慰金を含め77歳の支給人数は545人、88歳が225人、99歳が13人、100歳が12人、101歳以上が12人で、合計807人となっています。今後、市の財政事情はさらに厳しくなると予想される中で福祉の持続性を高めるためにも見直しが必要と考えています。

# 一般質問



米谷 勝 議員

## 観光振興について

①定期観光バス運行見合わせについて

**質** 平成26年8月から新バス運賃制度が導入され、平成27年度の運行は経費が大幅にアップすることにより中止することだが、男鹿市はジオパークをはじめ観光にふさわしい資源がたくさんあるが市長の考えを伺います。

**答** 本市を訪れる観光客の2次アクセスと観光拠点への移動手段確保のため、乗合タクシーの活用など関係機関等に働きかけてまいります。

②西海岸の観光環境について

**質** 五社堂のCMに吉永小百合さんが起用され、知名度がアップした。今後の観光客の動向に期待がもてるが、五社堂駐車場入口は大型観光バスの通行に支障があるので、改良できないか伺います。

**答** 戸賀方向からは、一部メーカ1の新型車種について車体が接地する可能性があるものの、それ以外の車種では支障はなく、椿方向からは全車種乗り入れ可能と伺っているが、再度現地を確認します。

**質** 西海岸から入道崎まで駐車場から変化に富んだ景観が見られるが、現状は草木が茂り国定公園指定時の景観ではない。自然公園法に公園管理団体制度があり、民間団体や市民による自発的な自然風景地の保護及び管理の推進を図る観点から、この制度を利用して

**答** 公園管理団体を創設しても現在、市が行っている手続きと同様となります。平成26年度は3月頃、支障木の剪定や草刈りを景勝地が見れるところを主体に進めます。

## 減農薬米について

**質** 平成23年度から男鹿中地域において、おが減農薬米栽培実証事業を実施しているが、今後どのように支援していく考えか伺います。

**答** 本事業は、平成27年度まで支援してまいります。

**質** 給食用米に使用している「おが減農薬無洗米」について、教育委員会が秋田県学校給食会の単価で契約しているが、さらに通常米との価格差1キロ当たり76円の取扱業者助成について伺います。

**答** 子育て応援米のキロ単価396円と、秋田県学校給食会のキロ単価320円との差額76円を学校給食用米の取扱業者へ助成したものであります。

## 「その他の質問」

●生ごみ堆肥化実証実験について  
●木質バイオマス発電について



船木 正博 議員

## 男鹿市の最重要課題

**質** 日本創成会議の試算によると2040年には全国1800の自治体の半数が消滅する可能性があるとの試算が公表されました。その消滅可能性都市の筆頭に男鹿市が挙げられています。本市にとって人口減少対策はもはや放っておけない最重要課題であります。男鹿市の人口減少問題に対してどのように分析し、どのような計画と対策があるのか。また、市民の意見を吸い上げ行政に生かす具体的な施策はあるのか伺います。

**答** 本市の人口減少の要因の一つは未婚率が高いことにあります。このことから婚姻率を高め、結婚、出産の早期化や子育て世帯への支援などにより人口増に繋げていくことを目指してまいります。また、来年度には平成28年度から計画期間とする新たな男鹿市総合計画の策定に取りかかります。計画では人口問題を最重要課題として、さまざまな観点から総合的に取り組むため、今年度において

市民意識調査の実施を計画し、関連予算を本定例会に提案してまいります。今後も、市民のご意見を市政に反映してまいります。

## 船越の都市計画

**質** この所、船越の人口増加は止まり、減少傾向にあります。手遅れになる前に男鹿市全体の人口流出を防ぐ砦として位置づけ、早急な都市計画が必要と考えて伺います。

1、ジョイフル跡地の早期決着を(株)伊徳に対し早期の出店をお願いしていますが、いまだ事業計画はない状況です。

2、船越駅北側の整備の必要性

**答** 那場掛杉山1号線の拡幅整備を平成30年度の完了を目指し事業実施中です。

3、男鹿総合観光案内所道の駅画男鹿駅周辺整備のグラントデザインの中で男鹿市全体の活性化を視野に入れ検討します。

4、海岸沿いの津波対策は万全か

**答** 海岸沿いの保安林を防災林として活用し、津波避難タワー、防潮堤の建設は考えていません。

5、コンパクトシティ構想を  
**答** 超高齢社会を迎える中で、コンパクトシティ構想は男鹿市全域で目指すものであります。



高野 寛志 議員

本市独自の農業対策について

**質** 大潟村のように、広大で整然と整備された農地を有する地域と違って、農地が各地に点在し、中山間地も多い本市の場合、農業政策も違った方策が求められます。農業を取り巻く環境は厳しく、先行き不透明であるため、男鹿市独自の農業振興策を急がなければならぬと思うがいかがか。

**答** 本市独自の施策としては、転作団地化育成事業により、水田をフル活用した大豆などの産地づくりを推進しています。平成27年度からは、脇本や船越、若美地域の基盤整備事業完了地区において、広域ブロックローテーションでの大規模団地化による大豆の本作化を推進してまいります。また土地改良事業で整備した若美地区の畑地帯において、葉たばこ廃作などにより発生した休耕地を活用し、ネギやキャベツ、大根の加工業務向け野菜の作付拡大を支援し、複合作物に取り組む農業者の所得向上を図ってまいります。

漁業について

**質** 近年漁業従事者が激減しており、漁業は5年から10年後には壊滅するのではないかと懸念されています。本市は海あり、山ありの恵まれた環境にあり、海のない市町村からはうらやまれています。また、近年魚介類や海藻などは、ヘルシー食品として人気を呼んでいます。本市の資源豊かな海を生かし、活用するため漁業特区制度のようなものを創設し、漁業振興のため抜本的な改革を促すとともに、後継者の育成を図らなければならぬと思うが、市長の考え方を伺います。

**答** 市では農林漁業後継者奨励制度を創設し、平成4年度から15歳以上36歳未満の漁業を承継する10人に奨励金を交付しています。今後も漁業振興を図るため、後継者の確保、育成に努めます。

和食について

**質** 市をあげて和食の研究・開発に取り組み、和食を宣伝・普及させることよって地域の発展を目指すべきであると考えますが、市長の考え方を伺います。

**答** 男鹿海洋高校や料理研究家と連携し、男鹿産の食材を使用した「男鹿めぐみ御膳」を開発したり、化学調味料や添加物を使用せずに素材の旨味を堪能できる商品の開発を行っています。



三浦 一郎 議員

農業・農協改革政策は

**質** 米の概算金が60キロ当たり8500円と下落し、展望の見えない事態ですが、後継者育成、主食用米過剰対策の飼料用米、耕地基盤整備事業の取り組みが大事と考えます。また、農協改革では政府から協同組合の原則と自主性を無視した方針が示されていることについて伺います。

**答** 後継者育成のため、年間150万円を最長5年間給付する青年就農給付金制度が始まり、現在まで延べ9人が取り組んでいます。飼料用米については、今年度の作付面積は約20ha、収穫量は140トンです。基盤整備については、土地改良区のない地域では市が実施主体となり取組み、平成27年度は男鹿中地区、野石地区の約7haを予定しています。農協改革については、JAが自主的に進めるものと認識していますが、国の動向を注視します。

市の非正規職員の待遇改善は

**質** 非正規職員の低待遇ぶりは問題です。実質的に同一労働同

一賃金と労働に見合う賃金の保障、他の条件の改善も必要です。特に若年層にとつての非正規固定では、結婚も子育ても難しく、少子高齢化打開の面からも問題です。①正職員、非正規職員の構成と非正規職員の正規員化、正職員採用計画を伺います。②労働基準法の最低賃金時給額は679円ですが、市と市が関与している団体の最低時給を伺います。

**答** ①再任用短時間勤務職員を含む正職員は501人、非正規職員は256人で、賃金等の条件については、平成25年度に賃金改正を行い、今年度から通勤費を支給していますので、来年度の改善は考えていません。正職員化については、採用試験をせずに正職員としての採用は考えていません。新規採用については、今年度末21人の退職予定に対し、13人の採用を予定しています。②非正規職員の最低時給額は、一般行政部局723円、企業局862円、病院715円で、指定管理者制度により施設管理を委託している主な団体では男鹿保育会723円、体育協会687円、地域振興公社700円、観光協会680円、温泉郷協同組合750円となっています。

**【その他の質問】**

- 地方自治（農業委員会・教育委員会）での市長権限等について
- 空き家屋等について



進藤 優子 議員

## 子どものネット利用について

**質** 中高生にとって、スマホやタブレット端末は生活の一部であり、夢中になりすぎて、ネット依存に陥る子どもが増加しています。LINEによる仲間はずれ、いじめなどの事例が起きている中、本市の状況と認識、早期発見と対策について伺います。

**答** 市内全中学校を対象に、ネットと生活習慣に関するアンケートを実施しました。学年が上がるにつれ、使用時間が増える傾向にあり、子ども達の小さな変化も見逃さないよう、また、授業で使用するのルールやマナー、危険性等について指導しています。市内4中学校長連名で保護者への協力依頼をしながら、一層の啓発に取り組んでまいります。

## 買い物弱者支援について

**質** 農林水産省は、過疎化などによる商店の減少で、食糧の購入も困難な「買い物弱者」が増加している地域を対象に、買い物支援サービスの立ち上げ資金を助成する事業を平成27年度から開始す

る方針を固めました。本市の支援の方法や今後どのような施策を考えているのか伺います。

**答** 男鹿半島案内ボランティアの会等が、新たに組織した協議体「区内町御用聞き配達事業団」では、県の県民協働プロジェクト支援事業を活用し、食材、惣菜、弁当の出張販売や宅配サービスを提供するとともに、安否確認や高齢者等生活支援の取り組みを金川地区、船川地区の一部で今年から実施する予定としています。

## 認知症対策について

**質** 高齢化に伴い認知症が急増しており、認知症患者と同居する家族の介護負担は、大変厳しいものがあります。本市の認知症対策に対する取り組みについて伺います。

**答** 誰もが発症する可能性がある認知症の予防につながる効果が期待できるインターネットを利用した「認知症テックカー」の導入を検討してみたいかがか。

**質** 認知症サポーター養成講座の開催や「地域で見守る早期発見ネットワーク事業」を今年度から開始しました。来年度からは、GPS端末を利用する徘徊高齢者位置探索システム利用助成事業に取り組んでいきます。また、認知症の早期発見、早期受診につながる認知症テックカーの導入について検討していきます。



佐藤 已次郎 議員

## 秋田県市町村未来づくり協働プログラム 男鹿駅周辺整備計画は 市民の理解を前提に

**質** 男鹿駅前のホテルを購入、建物解体し、跡地に図書館を核とした観光、物産、交流部門や宿泊部門を含めての男鹿駅前再開発計画が議会に提示され、計画への反対や疑問、駅前周辺全体の計画にすべき等々の意見から、市長が駅前ホテルを含めた男鹿駅周辺の整備に向けて船川地区全体を考えたランドデザインを描いた上で、優先順位を考慮し議会に諮りたいと述べました。私は男鹿駅前から種苗交換会で利用した県の未利用である港湾用地と船川の市街地を一体化し、観光客が街を歩き、見て、食べて交流できる計画が必要と以前から述べている。市のイベントでは港湾道路沿線は人や車でいっぱいですが、船川の市街地への人の出入りは、ほとんど見られないと言われており、経済効果はないと嘆いている。ぜひこの計画は地域住民にとって喜ばれ

るものにしなければいけません。市当局で十分検討した計画を期待しますが市長の所見を伺いたい。

**答** 基本計画は、男鹿市全体の活性化を見据え、男鹿駅周辺のにぎわいづくりを目指して、核となる施設や町並みについての整備の全体プランニングを計画するもので、超高齢社会を迎える中で、公共交通機関を活用して「歩いて暮らせるまちづくり」を目指していきたい。

## 敬老祝金等支給条例の一部改正 77歳等の敬老祝金 支給廃止をやめよ!!

**質** 行政改革大綱に敬老祝金の支給を77歳、99歳、101歳以上を廃止し、88歳と100歳だけに支給するとなっています。総合計画の事業計画では廃止することにはなっておらず、敬老会を開催し敬老祝金を支給し敬老意識の醸成を図るとしている。行政改革という手法での経費削減ありきの逆さまの行政手法であり、提案を取り下げるべきと考えます。

**答** 県内他市の支給状況や平均寿命が男性80・21歳、女性86・61歳と伸びており、行政改革大綱に支給対象年齢の見直しを位置付け、条例改正案を提案したものです。



土井 文彦 議員

ICT活用  
定住促進、人口増加の施策

徳島県では、光ファイバー網を県内全域に整備し、サテライトオフィス開設の古民家改修費などを補助することで、過疎地域に首都圏のITベンチャー系企業の誘致を促進した結果、徳島県内4市町村に3年間で76世帯113名が移住しました。

**質** 男鹿市でも光通信網を生かしながらに空き家を活用した定住促進や人口増を促す施策が必要と考えるが、市長の見解を伺います。  
**答** 光回線の利用で、離れた場所にある太陽光発電所を監視するテレメーター回線などで、高速通信網が生かされています。市内の空き家の有効活用を通して定住を促進し、地域の活性化を図ることを目的にした空き家バンク制度を平成21年12月から実施しており、これまで市ホームページなどで発信した結果、売却3件、賃貸1件の契約が成立しています。

男鹿市活性化  
若者の力を生かす政策

定住・移住対策で成果を上げている海士(あま)町では、離島というハンディキャップをはねのけ守りの部分では、島一丸となった行財政改革に着手。攻めの部分では、CAS技術を自治体として全国初で導入し、鮮度の高い海産物を提供し、漁業者の暮らしの安定に貢献するなど、若者を生かす新産業の創出に成功しています。

**質** 男鹿市でも活性化に向けて若者の力を生かす政策が求められると思うが、若者の力を生かす特化した政策はあるのか伺います。  
**答** 文部科学省の補助事業である「地(知)の拠点整備事業」に本市も平成27年度から3年間にわたり参画するため、秋田大学を核とした交流人口の増加をテーマに国への申請をいたします。事業内容は、都市圏の大学スポーツサークルの男鹿市での合宿、秋田大学スポーツサークルの地元での交流促進などが検討されています。男鹿なまはげロックフェスティバルは、地域の活性化、男鹿の元気を発信するものとして、市でも支援しており、今回から2日間にわたるイベントになり、若者がまちを歩く姿が見られ、交流人口の拡大に寄与しています。

**質** 若者の力を生かす政策が求められると思うが、若者の力を生かす特化した政策はあるのか伺います。  
**答** 文部科学省の補助事業である「地(知)の拠点整備事業」に本市も平成27年度から3年間にわたり参画するため、秋田大学を核とした交流人口の増加をテーマに国への申請をいたします。事業内容は、都市圏の大学スポーツサークルの男鹿市での合宿、秋田大学スポーツサークルの地元での交流促進などが検討されています。男鹿なまはげロックフェスティバルは、地域の活性化、男鹿の元気を発信するものとして、市でも支援しており、今回から2日間にわたるイベントになり、若者がまちを歩く姿が見られ、交流人口の拡大に寄与しています。

●その他の質問  
オープンガバメントの推進について



佐藤 誠 議員

防災・津波対策について

県沿岸の12地区の中で、船川港地区の防波堤だけが設計津波水位よりも低い状況である。また、35mといわれる防波堤も現状は砂に埋もれて1mしかない所もある。早急に調査し対策すべきでないか。

**答** 現在、港湾区域内の区間ごとに詳細な津波シミュレーション解析を実施中で、具体的防護方式は27年3月下旬にまとめると聞いています。

**質** 指定避難所まで行けない高齢者も多い。市内でわざわざ処分費をかけて山に廃棄している残土の中で良質な土を利用し、築山や海岸線に土塁ができないか。難しいければ、船越、脇本地区には避難タワーなどを考えるべきと思う。

**答** 築山は広大な用地が必要であり、また、法面保護など課題が多いことから整備は考えていない。避難を優先することとし、避難路の整備を行っています。

**質** 8分以内に応急処置ができれば生存率が高いといわれる。市内のAEDの配置状況はどうか。  
**答** 市内72カ所の不特定多数が集まる所に設置していますが、

どこからでも8分以内という考慮はしていません。

自然公園整備計画について

**質** 一年前、市としても計画策定をしなければならぬという答弁だったが、計画書は提出したか。

**答** 県自然保護課と協議したが、計画を作った場合でも、枝の刈払いや、草刈等に関しては、その地区や植生などを考慮するとともに、地権者や自然保護団体との調整が必要であり、事例ごとの個別の対応になると指導があったため、管理計画は提出していません。なお、西海岸の支障木の枝払いについては、平成27年3月頃、関係者の同意を得ながら実施する予定です。

空き店舗等の利活用について

**質** 高齢化が進む街に若い世代の発想を取り入れ、街づくりの主役として取り組んでもらう考えはないか。

**答** 平成27年度から3年間、秋田大学を核とした交流人口の増加をテーマに国へ申請します。所有者だけでなく、店舗を借りた人も対象となる店舗リフォーム補助金を創設してはどうか。

**答** 空き店舗をホームページで紹介し利用を働きかけたところ。今後、空き店舗を活用した場合の賃貸料や改装費の助成制度の検討をしていきます。

●その他の質問  
地域通貨について



安田健次郎 議員

## 来年度予算について

**質** 来年度の予算編成で重要な課題や政策についての所見を伺います。また、財政見通しが悪くなりつつありますが、今後の税収対策や財源についての対応を伺います。さらに、活性化と人口減対策についての取り組みを伺います。

**答** 最重要課題である人口減対策、農業や観光をはじめとした産業振興、男鹿駅周辺整備、学校施設整備を柱として予算編成します。財政見通しについては、国有資産等所在市交付金の減少や合併算定替え特例の縮減により、市税や交付税の増額は見込めない状況です。活性化については、スポーツ大会の開催、スポーツ合宿や教育旅行の誘致による産業振興や男鹿駅周辺整備、観光振興に取り組みます。人口減対策としては「男鹿版結婚支援センター」「男鹿版ネウボラ」の立ち上げ等により、結婚支援と子育て環境の充実に取り組みます。

## 教育行政について

**質** 現在の教育改革は、愛国心の押しつけと異常な競争主義の

持ち込みであります。特に新教育長の問題ですが、教育長がトップになります。議会の同意を得て任命されますが、市長からの独立性が弱まります。こうした改正についての所見を伺います。また、来春統合される野石小学校児童の通学手段と学童保育への対応について伺います。

**答** 今回の改正は教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保し、責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築を図ることを目的としています。今後は教育長の任免や総合教育会議の設置、大綱の策定など、教育行政への首長の責任と役割が明確化されます。一方、教育委員会は独立した機関として教育行政事務は担います。学校統合については、船川第一小学校と船川南小学校以外の小学校、中学校、保育園については現段階では想定していませんが、今後の状況を見きわめながら検討します。

野石児童クラブについては、当面現在地に存続します。登下校における交通手段については、市単独運行バスを利用し、登校時は下五光明と美野発の2便、下校時は低学年1便と中・高学年1便の運行を予定しています。

## 【その他の質問】

●米価下落の農家支援対策について

●福祉灯油の実施について



中田 謙三 議員

## JR男鹿駅について

**質** 男鹿駅における一日平均の乗客数は昭和50年度1776人、平成2年度920人、平成18年度580人、平成25年度497人と減少傾向にあります。乗車率向上と市町村未来づくり協働プログラム策定における関係団体との協議について伺います。

**答** 船川地区に限らず市全体の活性化を見据え、グラウンドデザインを描いて、車に頼らない、市内を運行する路線バスとの円滑な接続による利便性の向上や鉄道を活用した観光振興を図りながら乗車率向上に取り組みます。協議の環境づくりについては、市商工会において設置している「男鹿駅前整備計画検討委員会」を「男鹿駅周辺整備計画検討委員会」に名称を改め、地元住民や商工会、男鹿市観光協会、地元金融機関と協議してまいります。

## 児童を取り巻く生活環境の変化について

**質** ひとり親世帯児童の育児・子育てと仕事を両立することは大変難しいことが予想されます。低所得で生活困窮により、学校生活に支障をきたしている児童の支援策について伺います。

**答** 男鹿市児童生徒就学援助要綱により援助を受けている児童生徒の数は、今年11月末現在で小学生が130人、中学生が83人となっています。支援の内容については、学用品、給食費、修学旅行費及び生徒会費を援助しております。また、ひとり親世帯については児童扶養手当法の規定に基づき月額4万1020円から9680円の間で支給を受けています。

**質** 就学支援を受けている児童生徒数の過去5年間の傾向はどうか。

**答** 平成22年度が8%、平成23年度が8・7%、平成24年度が9・5%、平成25年度が11・4%、平成26年度が13・4%と、確実に増える傾向にあります。

**質** 小・中学校の携帯電話、スマートフォン所持率と使用実態及び使用制限について伺います。

**答** 小学4年生から中学3年生の所持率は小学生が14・2%、中学生が30・2%となっています。使用制限については保護者とルールを決めている小学生が67・6%、中学生が64・1%となっております。





富勝 議員

北部地域の  
買い物弱者への対策について

**質** 北浦地区では高齢化が著しく、生活用品の調達もままならないのが現状です。総合的な商品を取り扱っていたAコープ北浦店も撤退したが、最近女性グループが跡地を有効利用したいという動きがあります。地域福祉のまちづくりのためにも行政が後押しすべきと思うが、市長の見解を伺います。

**答** JA秋田みなみが所有するAコープ北浦店は、平成22年8月に閉店し、その後旧店舗の軒下を利用した定期市が週2回から3回開催されています。火曜日にはJA秋田みなみ女性部北浦支部の会員が野菜や果物等を、金曜日には商工会の会員等9団体が精肉、鮮魚、加工品等を販売しており、開催時には1回当たり約70人の利用があると伺っています。

定期市の開催にあたっては、建物の老朽化により、軒下を借り受けて野外で販売しており、市としては、JA秋田みなみと協議し、4月早々から支援できるように検討したいと思えます。

観光行政について

**質** 県の未来づくり協働プログラムで、男鹿市と秋田県が一緒になって観光に関するプロジェクトを行っています。具体的な計画を示していただきたい。また、男鹿半島独自の観光振興、すなわち伝統、文化、習俗や食文化など生活文化の伝承・普及、農林漁業後継者の育成、地域に学ぶ教育高世代への継承が、幅広い教育志向への対応や福祉の向上にもつながります。観光、農林漁業、教育、福祉の四つの柱が持続可能な観光都市像と思うがいかがか。

**答** 秋田県市町村未来づくり協働プログラムは、市の基本的な方向性を定め、議会との合意形成を図り、県に提出することになります。3月末までに基本計画を、平成27年度には実施計画を策定し、平成28年度に事業着手となります。市では教育・観光・環境が豊かな文化都市を目指し、観光振興に取り組んできました。観光拠点の整備のほか、市民から協力をいただき交流型体験メニューの推進により観光客誘致を図っています。観光客が求める体験交流型観光のさらなる充実を図るため、今後も地域資源を生かした観光振興策に取り組んでいきます。

**質** 県の未来づくり協働プログラムで、男鹿市と秋田県が一緒になって観光に関するプロジェクトを行っています。具体的な計画を示していただきたい。また、男鹿半島独自の観光振興、すなわち伝統、文化、習俗や食文化など生活文化の伝承・普及、農林漁業後継者の育成、地域に学ぶ教育高世代への継承が、幅広い教育志向への対応や福祉の向上にもつながります。観光、農林漁業、教育、福祉の四つの柱が持続可能な観光都市像と思うがいかがか。

**答** 秋田県市町村未来づくり協働プログラムは、市の基本的な方向性を定め、議会との合意形成を図り、県に提出することになります。3月末までに基本計画を、平成27年度には実施計画を策定し、平成28年度に事業着手となります。市では教育・観光・環境が豊かな文化都市を目指し、観光振興に取り組んできました。観光拠点の整備のほか、市民から協力をいただき交流型体験メニューの推進により観光客誘致を図っています。観光客が求める体験交流型観光のさらなる充実を図るため、今後も地域資源を生かした観光振興策に取り組んでいきます。

●**【その他の質問】**  
●ため池の老朽化対策について  
●副市長人事について

特別委員会  
予算委員会  
農委

今定例会において、全議員で構成する予算特別委員会に付託された、一般会計補正予算等について審査し、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。一般会計補正予算の質疑された中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

ハタハタ資源の維持回復は

**質疑** 栽培漁業定着強化事業費補助金の事業内容と海藻養殖への取り組みについて伺います。

**答** 栽培漁業定着強化事業はハタハタ資源の維持回復を目的に、海岸への漂着ブリコを採取し、島漁港内でホタテかごにブリコを入れて自然ふ化放流を行うもので、補助金はこのホタテかご等の資材購入に対する助成です。海藻養殖は現在ワカメとコンブを行っています。その他の海藻についても可能性について調査研究してまいります。

**五里合公民館移転について**

**質疑** 五里合公民館・保育園等移転改修工事に係る住民要望について伺います。

**答** 平成25年度より五里合振興会を中心に保育園の保護者会等の各関係者への説明会を行っています。この中で水洗トイレの機能、駐車場の整備など要望があり、市として対応可能か検討しています。

減農薬米の単価について

**質疑** 50%減農薬米を使用した子育て応援米と学校給食米を同単価とした考え方について伺います。

**答** 通常米単価については秋田県学校給食会から提示された全県統一価格とし、減農薬米を利用して子育て応援米1キログラムあたり396円との価格差76円を補助しています。減農薬米を給食で提供することにより、食と農に関する理解が得られるとともに米の消費拡大、減農薬米の普及啓発が図られることから、本事業も農業振興に繋がると理解しています。差額を補助することにより、統一的な金額で男鹿産減農薬米を扱うという方針で本制度を運用してきました。

男鹿駅周辺整備の構想は

**質疑** 男鹿駅周辺整備基本計画の計画提案時期及び秋田県市町村未来づくり協働交付金活用事業の位置付けについて伺います。

**答** 秋田県市町村未来づくり協働

# 委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査し付託議案等については、原案のとおり可決・採択すべきものと決しました。質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

## 総務

**質疑** 五里合公民館・保育園等移転改修事業について、保育園から体育館へは、渡り廊下により移動できますが、学童保育施設からも廊下など活用し移動させる考えはないか伺います。

**答** 保育園と学童保育や出張所・公民館等の施設とは安全性等を考慮し、仕切りをすることとしており、学童保育の児童が体育館を利用する場合は、外を通つての利用を考えています。

**質疑** 選挙費のポスター掲示場制作設置及び撤去業務委託の発注状況等について伺います。

**答** 市内173カ所にポスター掲示場を設置しています。

が、4工区に分け小規模工事等希望登録業者へ発注しています。

なお、通常は入札により発注していますが、昨年12月の衆議院議員総選挙に関しては、予算化してから短期間であったこともあり、見積もりを徴取しての随意契約としたものです。

**質疑** 室内用香水「椿」開発業務について、民間企業でも様々な製品を開発し販売している中、市が取り組む考え方について伺います。

**答** 秋田地域振興局の女性職員と本市の女性職員等でのまとめた「椿プロジェクト」において、女性目線からの施設整備や商品開発などが提案されています。このようなことから、来年4月の全国椿サミット開催と合わせ、これまで男鹿のツバキを活用したお土産品などもなかったこともあり、新たなお土産品として香水開発に取り組むこととしたものです。

業務内容については、ツバキをイメージした香りの調合

を2種類作るものであり、その後の商品販売に関しては、おが地域振興公社において、販売する計画で協議を進めています。

**質疑** 空き家等除却費補助金の補助対象者など、事業内容について伺います。

**答** 補助金については、条例に基づく「空き家等の所有者等に対し、助言又は指導」の対象となった空き家のうち、除却すべきものに対し交付するものです。

この除却すべき空き家等については、近隣に被害を及ぼすおそれのあるものとしており、市でランク付けをしています。

補助金額については、空き家等解体費などの対象経費の30%相当額とし、30万円を限度として交付するものです。

## 教育厚生

**質疑** 男鹿市要保護児童対策地域協議会は年1回の開催において、非行やドメスティックバイオレンスなどの問題に

ついて協議しているとのことですが、個別の事案が発生した場合に迅速に対応できるのか伺います。

**答** 個別の事案が発生した場合場合は福祉事務所の担当者及び必要に応じて保健師等での都度対応しております。

総合的な対策について男鹿市要保護児童対策地域協議会で意見交換や検討を行っています。

**質疑** 学校給食用米の納入時の検査はどのように行っているのか伺います。

**答** 納入される学校給食用米の検査は、検査職員2人ないし3人により納入業者立会いのもとで数量、品質、異物の混入の有無を目視で行っています。男鹿産か、あきたこまちかなどの化学的な確認は困難であることから、納入業者との信頼関係のもとで納入してもらっています。

**質疑** 男鹿みなと市民病院の医療情報システムの更新によるメリットについて伺います。

**答** 放射線画像診断システムの追加及び電子カルテ導入を含む医療情報システムの更新のメリットとしては、検査結果が早く確認出来ることによる患者待ち時間の短縮、紙

カルテや放射線フィルムの管理で手狭になっていた保管場所の解消、情報一元化による新たな診療加算の獲得などがあります。金額的には委託料紙やフィルムの経費等の削減効果が見込まれます。

システム更新に際しては、セキュリティ面へ配慮し、病床数や規模などを考慮したシステムを導入したいと考えています。

**質疑** 第6期介護保険事業計画、特に介護保険料算定の見直しについて伺います。

**答** 介護保険給付費は毎年約2億円ずつ増加しており、現在の第5期（平成24年度から平成26年度）においては給付費が不足しています。既に男鹿市介護保険財政調整基金を使い切っており、県から2千700万円の借り入れを申請している状況です。この分は第6期計画（平成27年度から平成29年度）に転嫁されます。

これらと合わせ、今後のサービス利用者の増加に対応した施設等の増加を見込むと、第一号被保険者（65歳以上）の介護保険料基準額は6千円代後半になると予想しています。

## 観光議員連盟が観光施設の 現地視察実施

観光振興を促進するとともに、観光協会と相互交流を図ることを目的に設置している「男鹿市観光議員連盟」が、11月20日、観光協会協力のもと五社堂駐車場やゴジラ岩周辺をはじめとした市内観光施設の視察を行いました。

また、視察終了後、男鹿温泉交流会館「五風」で観光関係団体と意見交換会を実施し、秋田県種苗交換会等各種イベント実施に伴う波及効果や視察した海岸線の環境整備の方向性について活発な議論を展開しました。

現地視察及び観光関係団体との意見交換を踏まえ、動植物の生態系保全と併せその景観維持が喫緊の課題となっていることから、自然公園内の景観維持に係る規制緩和及び財政支援について本市からの提出議案として秋田県市議会議長会へ提出しました。



舞台島駐車場

## 議会を傍聴しませんか

男鹿市議会では、定例会招集告示された翌日から「会期及び日程表」、「一般質問通告書」を支所、出張所窓口に備え付けますので、議会傍聴にお出での際の参考にしてください。

なお、市ホームページでも公表しておりますのでご利用ください。

### 質疑 水道事業及びガス事業

## 産業建設

**所管報告** 敬老祝金に関する条例改正案は、77歳の5千円、99歳の5万円、101歳以上毎年2万円への支給を廃止し、88歳の1万5千円、100歳の10万円のみを対象とする内容でしたが、教育厚生委員会において「祝金の代わりに実施するという少子高齢化対策の内容が不十分」「老人クラブなどの高齢者団体の意見を聞く必要がある」といった意見があり、更なる審査が必要であることから、継続審査となりました。

**会計の近年の赤字基調の原因について伺います。**

**答** 水道事業会計は、人口減等による販売量減少に伴い、毎年度売上収入が2%から3%落ちていることが赤字基調の主な原因です。さらに今年度は馬場目川水系の水利権放棄に伴う取水施設及びポンプ室の撤去費並びに除却費の発生が赤字傾向に拍車をかけています。今後も赤字基調は続くと思われ、現在は内部留保資金の補てんで対応しているものの、このままの状態が継続するようだと将来的に料金値上げも必要となるため、どうにかして販売量を増やす方策を考えていきます。

また、ガス事業会計については、販売量減と併せ原料ガスの購入費の値上がりが大きく響いています。

**質疑** 住宅リフォーム助成事業による下水道接続の効果を伺います。

**答** 平成25年度実績で下水道接続150件のうち、住宅リフォーム助成事業を活用しての接続が50件。また、合併浄化槽設置19件のうち、8件が住宅リフォーム助成事業を活用しています。

また、今後対象面積が増加した場合、現行制度での事業継続は困難であるため、計画的な間伐を進めていくほか、助成割合についても検討の必要があると考えています。

**質疑** 間伐材有効活用事業費補助金について、間伐推進を目的に運搬費に対する助成を行っているようですが、間伐、除伐をした山元に残る利益はどれ

**質疑** おが産減農薬米利用支援事業費補助金について、補助要綱では「通常米との価格差に助成する」と定められているが、通常米と減農薬米の価格差はないと聞いています。

1キ口当たり76円の価格差があるとして補助金を支出している根拠を伺います。また、この制度は農家への直接支援ではないが、農業振興に繋がるのか伺います。

**答** 秋田県学校給食会から提示された全県統一価格を通常米価格とし、減農薬米を利用している子育て応援米との価格差1キ口当たり76円を補助しています。減農薬米を給食で提供することにより、食と農に関する理解が得られるとともに米の消費拡大、減農薬米の啓発普及が図られることから、農業振興に繋がると理解しています。

## 請願

●農協改革に関する請願書  
 《要旨》JA組織について、地域振興や農業の多面的機能の發揮についても農協法の目的に位置付け、事業目的の見直しにあたっては、協同組合の基本的性格を維持すること。准組合員の利用制限は行わないこと。また、協同組合としての事業・組織を制約する一方的な法人形態の転換を強制しないことなどを求める。

採択

## 陳情

- ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情
- 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅改善・大幅増員を求める陳情書
- 介護従事者の処遇改善を求める陳情書(2件)
- 米の需給安定対策に関する要望書
- 労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現を求める陳情
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情について
- 専ら被保険者の利益のための年金積立金の安全かつ確

実な運用に関する意見書の提出について  
 ●年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情

## 意見書

- 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書
  - 介護従事者の処遇改善を求める意見書
  - ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書
  - 専ら被保険者の利益のための年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書
  - 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める意見書
  - 農協改革に関する意見書
  - 米の需給安定対策に関する意見書
  - 労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現を求める意見書
  - 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 9件とも可決されましたので、市議会の意見として、政府関係機関へ送付しました。

## 議会の豆辞典⑱

●意見書の提出権  
 意見書とは、市議会の意志を意見としてまとめた文章のことで、市議会は、市の公益に関する事件について、国会または関係行政庁に対し、意見書を提出する権限を持っています。  
 市の事務については、市議会の権限を通して処理したり、執行機関に対する監視的権限を行使することにより、市議会の意見を十分反映することが可能ですが、国政事務等については、自ら適切に処理する方法はありません。そこでこのような場合に対処するため意見書提出権が認められています。  
 今年度は、これまで16件の意見書を政府関係機関へ送付しております。

## 平成27年3月定例会日程(予定)

月	日	曜日	会議名	主な内容
2	27	金	本会議	市長提出議案上程(提案理由の説明)
	3	火		一般質問
	4	水		一般質問
	5	木		議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託
	6	金	予算特別委員会	付託議案の審査・分科会設置
	9	月		
	10	火	常任委員会・分科会	付託議案等の審査・現地調査 (総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会)
	11	水		
	12	木		
	3	18	水	予算特別委員会
議会運営委員会				最終日の運営について
本会議				各委員長報告(総務・教育厚生・産業建設・予算特別) 質疑、討論、表決

## 編集後記

▼12月定例会では11名の一般質問・6名の提出議案への質疑・予算特別委員会では7名により13項目に対する活発な議論が交わされました。特に「男鹿駅周辺整備基本計画策定業務委託料」に対する質問が多く、当局より今後、グラントデザインを議会に提示したい旨の答弁であったが①特色ある観光振興②地域産業の振興・新エネルギーの普及③安全・安心な地域づくり④スポーツ、文化の振興等これらを十分に組み込んだものであることを期待したい。

▼「男鹿市総合計画・後期基本計画」最終年度となる今年、市が掲げる「活力ある地場産業の構築」と思いやりの心で創りあげる「教育・観光・環境が豊かな文化都市」を目指し、限られた財源を最大限に生かした適時・適切な予算執行が行われるようしっかりと議論を尽くし、新年も本市の山積する問題に立ち向かい日常生活の中で自分たちの役割と目標を定め「より良い男鹿づくり」を目指してまいります。  
 (木元利明)